



日本共産党東京都議団二ユース  
**大山とも子** だより  
―都民が主人公の東京へ―

2021  
9月19日  
No.329

発行

日本共産党東京都議会議員団  
控室 電話(5320)7270  
FAX(5388)1790

連絡先

**大山とも子事務所**  
新宿区住吉町十一―二十五  
電話(3357)3818  
FAX(3353)4912

◆都政に関する  
ご意見・ご要望を  
お寄せください!

# 視覚障害者も安心して 安全に外出できる地下鉄・バスに



―東京視覚障害者協会の交通局交渉に立ち会う―

毎年視覚障害者の皆さんが各局に予算要望をします。9月6日、大山都議は交通局との懇談に立ち会いました。

視覚障害者がホームから転落しないように、可動式のホーム柵の設置やホームへの職員の配置をはじめ、安全でわかりやすい地下鉄やバスの運行について具体的に交渉しました。

## バス停に音声案内を 設置してほしい



視覚障害者はバス停がどこにあるのかも、そのバス停がなんというバス停かも見えません。江戸川区では区が視覚障害者との懇談で出された要望に応え、日常生活用具で給付されるシグナルエイドに対応するバス停にしています。昨年、大山都議は視覚障害者と一緒に調査を行いました。

バス停の近くに來るとシグナルエイドがピピピと鳴り、シグナルエイドのボタンを押すと、ピンポンとまずチャ

イムが鳴って、江戸川区役所前バス停はこちらです、江戸川区役所へは京葉交差点方向の誘導路に沿って左へ、グリーンパレスには云々と、音声案内で、バス停の名前と、それから、近くの区の施設の案内もしていました。

目が見えれば、周囲の状況によって、自分がどこにいるのか、どっちに向いているのかということはわかります。しかし、目が見えないと視覚的な情報は入らないので、自分がどこにいるのかわからなくなります。それで、ここにはバス停がある、区役所前ですといったければ、自分がどこにいるのか、

ここから音を出して知らせる



それから、どちらの方向に歩いているのかというのがわかります。

## 日比谷駅の有人改札を 手動ではなく 自動にしてほしい

交通局の担当課長は最初、通行人が多いので、自動にすると常に開きっぱなしになってしまう。困っていたら手伝いますと回答しました。視覚障害者が、「手伝ってもらわなくても歩けるようにすることが、バリアフリーなのではないか。」とただと、「意見としては検討します。」と交通局が答えたことは重要でした。

## 都議団と各団体との 予算懇談始まる

来年度予算要望について、各団体から要望や実態を伺う予算懇談が始まりました。団全体で70〜80団体と行います。大山都議は9月6日までに私立中学高等学校協会、養育家庭の会、盲ろう者友の会、東京都福祉社協議会、東京保険医協会、歯科保険医協会、日本失語症協会の皆さんと懇談しました。

## 盲ろう者の社会参加を 保障するために

盲ろう者は、視覚と聴覚の重複障害ですから、通訳介助者がいなければ、外出もままなりません。しかし、東京都の予算化されている通訳介助者の派遣時間は、一人当たり1日1時間程度しかありません。派遣時間を増やしてほしいというのは、長年の要望です。  
(ウラ面につづく)

同時に、盲ろう者でありながら様々なサービスを受けていない人が多いのも現実です。障害者手帳に両方の障害が記載されている盲ろう者が都内に848名ほどいることが推計されていますが、そのうち盲ろう者向けのサービスを利用している人は140名程度にすぎません。

荒川区は以前から、東京都盲ろう者支援センターと協力して、盲ろう者の自宅を訪問して情報提供や相談支援を進めています。盲ろう者本人は通訳介助者の存在も知らないのですから、訪問して知らせていくことが、サービスにつながる重要なきっかけとなります。東京都が、区市町村が訪問に踏み出せるよう、支援することが求められています。

## 在宅療養者の命を守る



### 現場の方々から聞き取り

大山都議は、在宅療養支援をしている新宿ヒロクリニックスや患者を受け入れている総合病院などを訪問し、現場の実態について伺いました。

### 新宿ヒロクリニックスの英裕雄医師からは、繰り返しお話を伺いました。

呼吸が苦しいと訴えた87歳の女性は、酸素飽和度が80台まで繰り返し下がっ

たので酸素濃縮器を使用、1週間の間に2回、救急要請をしましたが、入院先が見つかりませんでした。2度目の救急要請の時に病院から「人工呼吸器などの積極的治療を希望しない」ことが入院の条件、と言われました。ご家族は「それなら自宅で一緒に居たい」と搬送要請を取り下げ、その2日後に自宅で家族が看取りました。



ヒロクリニックスの皆さんと

このクリニックスでは、8月中、262名の患者さんを継続的にフォローし、その内酸素濃縮器の使用は92台、入院97名、自宅療養中に亡くなった方2名という結果になりました。英先生は、「自宅療養では救えない」と話しています。

### あらゆる方法で一刻も早く患者の療養先を増やす

今必要なのは、自宅療養ではなくあらゆる方法で入院できる病床と宿泊療養の場所を増やすことです。都は築地デポや味の素スタジアム内の庁舎を利用して整備するとしていますが、オリンピック・パラリンピックを中止していれば、もっと早く整備できたはずですが。さらに、中等症患者の臨時医療施設が必要だと医師会

も言っています。また、医療機関ではコロナ病棟に医療者を集中させたことで、閉じている病床があります。協力が得られる医師・看護師をそこに派遣し、中等症患者を受け入れられるようにすることなどを含め、わが党は9月7日のコロナ対策特別委員会で提案しました。

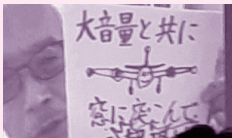
### 羽田新飛行ルート見直しのための都議会議員連盟の臨時総会開く



都議会議員選挙を経てスタートした21期のスタートにあたり、改めて議員連盟の加入を募りました。日本共産党、立憲民主党、生活者ネット、グリーンな東京の議員合計36人が加入し、都議会の28%を占めることになりました。

- ◆ 議連の今後の取り組みについて、
- ◆ 国交省や国会議員などへの要請行動
- ◆ 専門家などを招いた勉強会
- ◆ 住民団体などとの意見交換会
- ◆ 都議会内での連携などを行うことを決めました。

### 第2部では、住民団体との意見交換会を開催



騒音のひどさ、コロナ禍で窓も開けられないなど被害実態や地球温暖化を止めるためにも、羽田新ルートは必要ないことなどが、住民の皆さんから語られました。

### 都立学校全校に生理用品を配備



生理の貧困が社会問題になるなかで、都立学校全校に生理用品の配備が2学期から開始されました。

大山とも子都議は、先行実施していた7校のうちのひとつ、新宿高校に6月21日調査に行きました。トイレの手洗い場の棚に予備のトイレットペーパーと並んで、ナプキンが置いてあり、必要な生徒が使えるようにしてあります。先生からは、トイレットペーパーと同じように必要なものとして配備しているとのこと、とても重要な考え方だと思いました。

生理の貧困をめぐる運動は、女性に対する経済的支援にとどまらず、これまで公に語ることで体がタブー視されてきた「女性の『性』」にかかわる健康と権利の尊重」を求めるムーブメントとして大きな意義を持つものです。さらに推進していくことが必要です。

他の公共施設、私立学校などにもトイレットペーパーと同じようにトイレには生理用品を置くことが当たり前になるよう、努力していきます。



都立新宿高校